

事業概要シート

施策 0202 小・中学校教育の充実

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	フッ化物洗口推進事業	現状維持	予算額	2,590 千円
				《 1,325 》千円
事業期間	平成25年度 ~	財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等			県支出金	373 千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	2,217 千円

【事業の目的・概要・対象】

<目的>

定期的なフッ化物洗口を実施することで、むし歯予防のさらなる促進と生涯を通じた歯の健康づくりに対する児童及び保護者の意識の高揚を図る。

<概要>

実施校において、本人及び保護者が希望する児童に対して、週1回実施する。

- 平成29年度 15校（市内全小学校）
- 令和2年度 21校（市内全小学校+市内全中学校）

<対象>

市内小・中学生全児童生徒のうち、保護者がフッ化物洗口を希望する児童生徒

【背景】

平成25年度より事業をスタートし、平成26年度に2校、平成27年度に7校、平成28年度に市内全小学校15校と計画的に実施環境を整えてきた。次年度からの中学校における実施については、検討を重ねている。

担当課	教育委員会 学校教育課	課長	橋口 智秀
担当者	延壽寺 透	問合せ先	0957-53-4111（内線366）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	フッ化物洗口実施校数	校	15	15	21	21	21
②	フッ化物洗口実施者数	人	6180	6180	9100	9100	9100

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	フッ化物洗口実施率	%	100	100	100	100	100
②	DMFT指数(中1)	本	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	1,482	1,245	1,325	2,590	2,590	2,590	11,822
国庫支出金							0
県支出金	741			373			1,114
地方債							0
その他							0
一般財源	741	1,245	1,325	2,217	2,590	2,590	10,708
人件費	727	364	727	727	727	727	3,999
職員(人)	0.10人	0.05人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.55人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	2,209	1,609	2,052	3,317	3,317	3,317	15,821

妥当性 (市の関与)	定期的なフッ化物洗口によるむし歯予防対策は、歯科保健習慣形成のために必要である。 【必要性】：高い 第二次大村市歯科保健計画に基づき、児童期のむし歯予防対策を市が積極的に推進する必要がある。【市の関与】：高い
有効性 (施策貢献度)	週1回のフッ化物洗口により、むし歯の保有率が軽減されるものと推測される。 【事業成果】：高い フッ化物洗口の実施により、進んでむし歯を予防しようとする習慣が身につき、ひいては健康教育の推進につながるものである。【施策貢献度】：高い
効率性 (コスト)	【コスト】：削減の余地なし フッ化物洗口は、希望者のみの実施であり、今後推進していくうえからも実施希望者から経費を徴収することは難しい。【負担割合】：該当なし

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり